

私達にもできた！ 社会貢献

「仲間とともに輝け三中」

これは、約二十年前の、三中生徒会テーマであり、今では学校教育目標でもある、三中の合言葉です。私達三中生徒会は、この夏、三中生みんなで輝くと同時に、その輝きを広げていく活動に取り組みました。

それは「届けよう服の力プロジェクト」です。ファーストリテイリング社（ユニクロ）からの依頼を受け、着なくなった子ども服を回収し、難民などそれを必要とする方々に届けるという活動に参加したのです。私達はみんなに協力を呼びかけるための方法を話し合い、校内に掲示するポスターを作ったり、放送で呼びかけるための原稿を考えたりしました。回収日は八月四日の登校日と決めました。今も私達は心配でした。今回集めるのが、「子ども服」に限定されていたため、中学生の家庭だけでなく、十分な量が集まらないかもしれないからです。そこで、私達は地域の幼稚園や保育所にも協力を依頼しました。

そして迎えた八月四日。私達は玄関に立って、回収ボックスへと、みんなを案内しました。集まった

のは九七七枚。私達は自分達の取り組みに大きな手応えを感じると同時に、協力してくれた仲間達に感謝しました。

幼稚園や保育所にも、服を取りに伺いました。どちらでも、子ども服が詰まった紙袋や段ボール箱がたくさん集まっていて、ありがたかったです。後日数えた結果、一七〇四枚もありました。三十分と合わせて二六八一枚。想像していたよりもはるかに多くの子ども服が集まり、とても嬉しかったです。

これからも、私達にできる社会貢献活動にチャレンジし、「仲間とともに輝け三中」を目指して頑張っていくたいです。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第50回 —

みんなでより良くより楽しく

僕は、中学校に入り、経験したことのないバレーボールにチャレンジしようと思い、バレーボール部に入部しました。最初はボールの扱い方が全く分からずパスもサーブもレシーブもスパイクも何一つできませんでした。運動神経には自信があつたけれど、ボールを上手く扱えなくて、戸惑いもたくさんありました。そこで、動画やアニメも参考にして自分の目標を定めていきました。

しかし、バレーボールはチームプレーなので、一人が上手でも、全員が上手であっても、お互いを思いやり、各々を活かせるようなチームでないと成り立ちません。当然、試合をしても勝てません。逆に全員が上手くなくても、誰かの弱点を他の誰かがフォローし、ボールを繋げていく。それができるとチームは負けません。負けたとしても共に悔しさを感じ、自分たちの未熟さを認め、次に向かってチーム全員で前進していきます。



以前は、上手い人が集まればどんな競技でも勝てると思っていたし、下手な人は少し頑張ったくらいでは上手な人には敵うわけもなく、上手な人の手助けをするくら

いしかないと思っていました。しかし、実際は違いました。経験がある人と、経験がない人が教え合い、距離を縮め、お互いを認め合い、チームができていくと思います。一人飛び抜けて上手な選手がいるチームより、全員がフォローし合えるチームの方が強いし、何より楽しいです。